

- 1 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 2 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
- 3 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 4 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 5 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 6 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 7 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？
- 8 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？
- 9 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
- 10 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 11 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
- 12 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？
- 13 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
- 14 飛鳥時代、仏教の採用をめぐって蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？
- 15 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 16 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
- 17 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
- 18 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 19 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？
- 20 中大兄皇子と中臣鎌足に倒された、飛鳥時代に権力を握り天皇中心の政治の実現を阻んでいた豪族を何という？
- 21 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
- 22 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	604年に制定されました。	<u>十七条の憲法</u>	☐
2	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「 <u>中央集権</u> 」です。	<u>中央集権</u>	☐
3	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を <u>律令制度</u> といいます。	<u>律令制度</u>	☐
4	<u>律令制度</u> とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。	<u>律令制度</u>	☐
5	「 <u>飛鳥文化</u> 」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。	<u>飛鳥文化</u>	☐
6	「 <u>公地公民</u> 」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。	<u>公地公民</u>	☐
7	<u>法隆寺</u> は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。	<u>法隆寺</u>	☐
8	<u>遣隋使</u> は、小野妹子らによって何度か派遣されました。	<u>遣隋使</u>	☐
9	<u>中央集権国家</u> とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。	<u>中央集権国家</u>	☐
10	<u>渡来人</u> は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。	<u>渡来人</u>	☐
11	<u>仏教</u> は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。	<u>仏教</u>	☐
12	天智天皇が作成させた <u>戸籍</u> （庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。	<u>戸籍</u>	☐
13	<u>聖徳太子</u> は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。	<u>聖徳太子</u>	☐
14	<u>物部氏</u> は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推し進める仏教の導入に強く反対しました。	<u>物部氏</u>	☐
15	607年に小野妹子らが派遣されました。	<u>遣隋使</u>	☐
16	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「 <u>防人</u> 」を配置して警備を強化しました。	<u>防人</u>	☐
17	<u>渡来人</u> たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。	<u>渡来人</u>	☐
18	<u>聖徳太子</u> は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。	<u>聖徳太子</u>	☐
19	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。	<u>白村江の戦い</u>	☐
20	<u>蘇我氏</u> は飛鳥文化の中心的な存在でもあり、聖徳太子と協力して国の基盤を固めました。	<u>蘇我氏</u>	☐
21	672年に勃発したこの内乱は「 <u>壬申の乱</u> 」と呼ばれます。	<u>壬申の乱</u>	☐
22	<u>儒教</u> は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。	<u>儒教</u>	☐

言えなかった用語ノート